

Bullies to Buddies Game

● ゲームの概要

- このゲームは、いじめをとめるために生徒たちが非暴力的なスキルを学ぶことができるように、いじめ行動の複雑な循環を取り上げた教育的なボードゲームである。いじめは、学校のコミュニティ全員によって思いとどまらせることができる（たとえば、対象、傍観者、周囲の大人、加害者は、いじめをせずに社会的目標を達成できることを学ぶことができる）。このゲームでは、「対象」は、対象と傍観者がいじめの企てをとめることができない場合に「被害者」になる。

● ゲームの進め方

- 教員は、クラスに次の教示をする
 - プレイヤーはゲームキャラクター（被害者・加害者・傍観者）のアドバイザーである
 - 学校でいじめを予防するには、4つの重要な方法がある
 - ターゲットのスキル：いじめの企てをくじくスキルを学び、被害者にならない
 - 傍観者のスキル：いじめを予防するスキルを学び、ターゲットを被害者にさせない
 - 加害者のスキル（**Bully-to-Buddies** スキル）：加害者の社会的目標を、いじめ以外の望ましい方法で達成するためのスキルを学び、いじめをしない
 - 大人のサポート：いじめが生徒自身の手には負えない場合には、信頼できる大人に助けを求める
- プレイヤーは、自分がとまったゲームボード¹のマスの色に合ったカード²を引く。次に、カードの質問に答えて、いじめ根絶を表す足型（**footprints**）を買うためのポイントを集める。他のプレイヤーは、答えがよい、あるいは適切なものであるかを判断する（プレイヤーが判断できないときには教員が判断する）。もっとも多くの足型を集めた者が勝者となる。

- 1) ゲームボード：複数色のマスといじめ発生を表す赤い星爆（**red starbursts**）のマスがある。カードとゲームボードのマスの色は同じ意味を表す：緑（加害者）、黄褐色（対象）、黄色（傍観者）、青（大人のサポート）
- 2) 複数色のスキルカードがある。各スキルカードには、いじめ場面の描写と、色に応じた相手（加害者・対象・傍観者）にどのようにアドバイスをすべきかについての質問が書かれている。

Reference

Franklin Learning Systems (2001). *Bullies to Buddies Facilitator Manuals* Franklin Learning Systems. Westport: CT.

教材の情報

学年: 2-5 年生

出版社: Franklin Learning Systems

出版年: 2001

価格: \$49.95

URL: <http://www.franklinlearningsystems.com/Bullies-To-Buddies.html>